

空想の 芸術展

「麗しの牡丹展」

提案先：多摩美術大学 芸術学科 様

提案者： 

「麗しの牡丹展」

意図

古くから、その美しさで人々の心を掴んで離さない、百花の王・牡丹。遡れば中国盛唐の頃より、牡丹は最も美しい花として愛され、たたえられてきた。現代でも「立てば芍薬、座れば牡丹、歩く姿は百合の花」という言葉が広く使われているように、今も昔も変わらず牡丹は人々を魅了し続けている。

そして、その卓越した美しさは、当然ながら芸術にも多大なる影響を与えてきた。日本では、俳句をはじめとした文学や、絵画に着物、陶磁器などの工芸品の多くに美しい牡丹の姿が見られる。

この展覧会では、そのように様々な「牡丹」の姿を通して、牡丹の持つ美の力を感じるだけでなく、日本の文化をまた新たに見つめ直す機会になると考えている。

また、華やかでわかりやすい「牡丹」を主題にすることによって、近寄りやすい、難しいといったイメージで今まであまり美術鑑賞に縁のなかった層の人々、主に10代後半～20代前半の若者の来場者を増やし、普段触れることの少ない日本画に接してもらえるチャンスにもなる。

この展覧会は、『幅広い年代に訪れてもらえる／楽しめる』かつ『日本の文化／芸術を味わえる』という2つのテーマのもとに企画した。

来場者には、この展示を通し楽しんでもらいながらも、牡丹という花の忘れがたい美しさ、そして日本古来の美意識を改めて感じるきっかけとなることを期待している。

内容

開催会場 三菱一号館美術館 東京都千代田区丸の内2丁目6-2

開催日程 2025年 4月～5月

展示内容 生花、絵画、文学(書作品)、工芸品

- その他
- ・ 展覧会音声ガイド
 - ・ 館内Café1894にて展覧会との
コラボレーションアフタヌーンティー
 - ・ 関連プログラムとして落語会の開催
 - ・ SNS用 フォトスペースの設置
 - ・ 中高生のための芸術鑑賞教室

[宣伝方法]

- ・ 新聞
- ・ 周辺施設でのポスター掲示／チラシの配布
- ・ 各種SNS
(フォトスペースに#ハッシュタグをつけることで、開催期間中に
来館者が撮影した写真のSNS上での投稿が期待できる)

[全体の構成]

- ① **牡丹**を知る
- ② 文学と**牡丹**
- ③ 鳥と**牡丹**
- ④ 道具と**牡丹**
- ⑤ 女性と**牡丹**

*この展覧会は生花も取り扱うため、都内のフラワーショップ及び
フラワーアレンジメントを行っている企業と提携し開催する。
また、日程は牡丹の開花時期に合わせ4月～5月とする。

音声ガイドによる作品解説は、展覧会全体を通して行われる。
音声ガイドは日本語・英語・中国語・韓国語など多言語に対応させる。

① 牡丹を知る

会場に入ると、まずは美しい生け花の作品が来場者を出迎える。

ここでは

- ・ 基本的な牡丹の解説文
 - ・ 複数の品種の生花
 - ・ 牡丹の描かれた絵画 *作品例は次のページに記載
- を展示する。

*展示する作品は、現役の華道家 複数人に依頼する。
生花の日持ちを考慮し、約5日毎に作品は入れ替える。

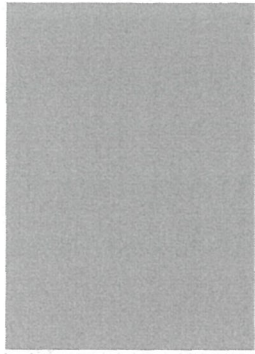
まず来場者に牡丹について知ってもらい、絵画の鑑賞と合わせて牡丹についての理解を深めてもらう。

また、造花を利用した装飾を施した展示も行う。

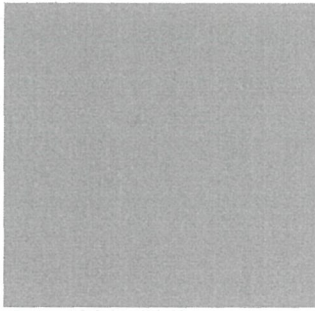
〈展示例〉

〈品種例〉

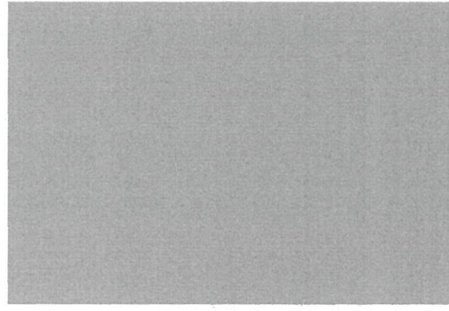
花王 (かおう)	緋の司
御国の曙 (みくにのあけぼの)	玉兎 (たまうさぎ)
初烏 (はつがらす)	島錦 (しまにしき)
笑獅子 (わらいじし)	金閣 (きんかく)
エリザベス *アメリカ種	豆緑 (とうりよく) *中国種



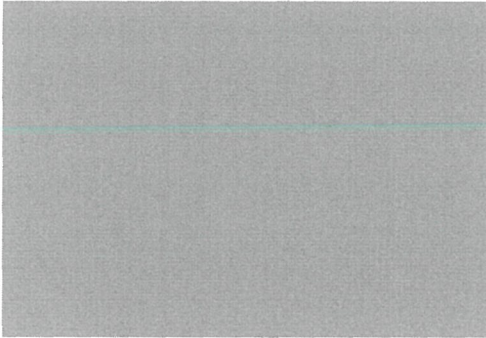
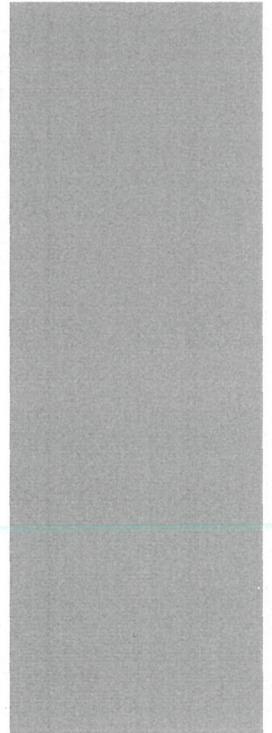
伊達模「李迪／牡丹図」
東京国立博物館



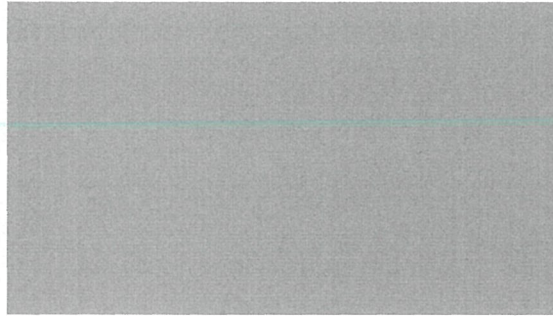
柳雲模「李迪／牡丹図」
東京国立博物館



「引札類 扇に牡丹」
京都国立博物館

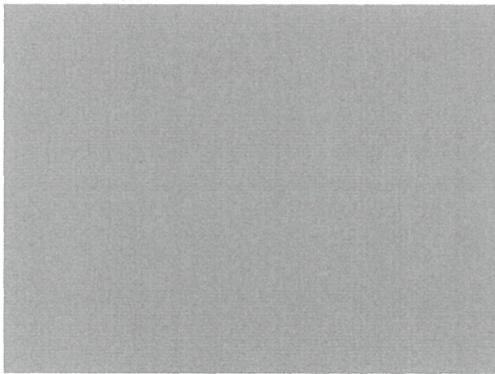


葛飾北斎「牡丹に胡蝶」
すみだ北斎美術館

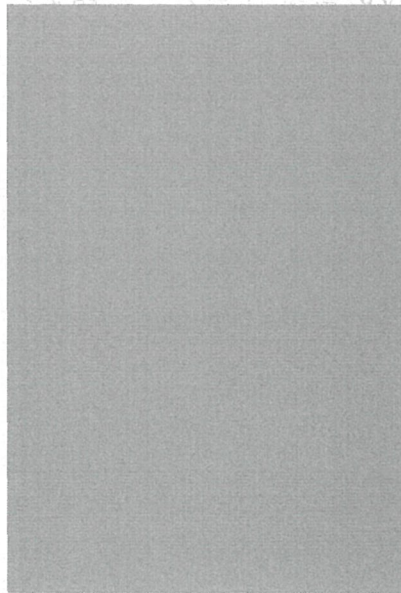


金島桂華「牡丹」
広島県立美術館

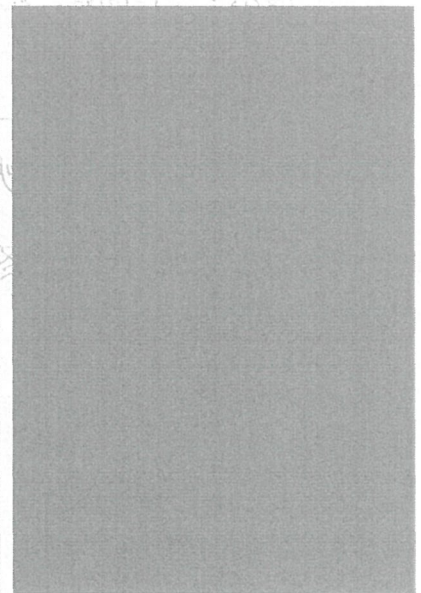
岸駒筆「牡丹に蝶図」
神戸市立博物館



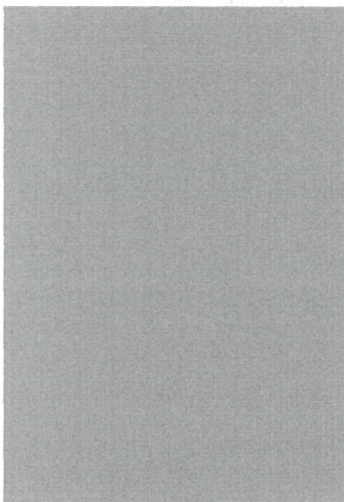
小田野直武「牡丹図」
九州国立博物館



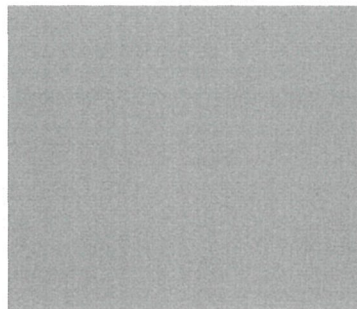
金田和郎「雨中牡丹図」
京都国立近代美術館



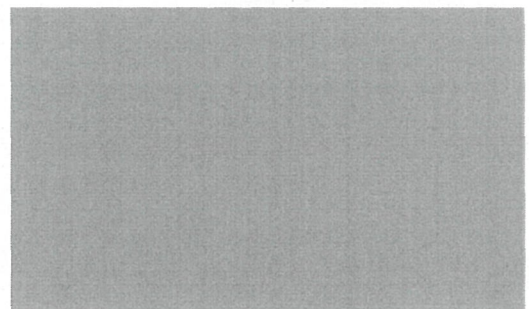
伊東正次「黒牡丹図」
愛媛県美術館



徳川治宝「雪中牡丹図」
和歌山市立博物館



荒木十畝「牡丹」
東京国立近代美術館



山口八九子「牡丹図」
京都国立近代美術館

② 文学と牡丹

牡丹はその美しさから「花の王」と呼ばれ、中国盛唐以降、詩や歌などの文学に盛んに用いられてきた。中国詩歌史上最高の存在として『詩仙』と称される李白は、世界三大美人の一人である楊貴妃の美しさを牡丹に例え、唐代中期の詩人・白居易も「長恨歌」にて、楊貴妃を牡丹に例えた。

1. 俳句

日本の文学上では平安時代中期、清少納言による随筆「枕草子」にて初めて牡丹が登場する。以後、日本でも様々な文学作品に牡丹が用いられるようになるが、とりわけ俳句では、多くの俳人が好んで題材としてきた。

ここでは、数多くある牡丹の俳句の中から25句を例として選出した。展示を通し、古くから日本で愛されてきた牡丹の美しさ・情緒を、古来からの日本人特有の美意識の現れである俳句を通じて感じていく。

*展示する作品は、現役の書家複数人に依頼する

欄干に楊貴妃眠る牡丹哉

正岡子規

牡丹散りて打重なりぬ二三片

与謝蕪村

【夏／初夏】

いたづらに 牡丹の花の 崩れけり (正岡子規)

美服して 牡丹に媚びる 心あり (正岡子規)

おほぎやうに 牡丹嗅ぐ娘の 軽羅かな (飯田蛇笏)

風だちて 花悩ましき 牡丹かな (高橋淡路女)

かんがえて 牡丹をのぼる 蟻の列 (加藤楸邨)

是程と 牡丹の仕方 する子かな (小林一茶)

芍薬を 牡丹と思ひ 誤りぬ (寺田寅彦)

低く居て 富貴をたもつ 牡丹かな (炭太祇)

牡丹咲き 芍薬霞む 浮世かな (野村喜舟)

牡丹の句 百句作れば 死ぬもよし (原石鼎)

満月の 秋のごとくに 白牡丹 (山口青邨)

めつむりて 闇きが中に 白牡丹 (野村喜舟)

押し花の 牡丹は白し 紙よりも (阿部みどり女)

累々と 花の重なる 牡丹かな (野村喜舟)

閻王の 口や牡丹を 吐かんとす (与謝蕪村)

寒牡丹 憶しげもなく 濃かりけり (高橋淡路女)

寒牡丹 挿して淋しき 忘るるか (松本たかし)

冬牡丹 きりきり生きる ことの愚よ (鈴木真砂女)

牡丹に 夜の眼よせ行く 息しろう (松瀬青々)

闇の中 逢へりまぼろしの 冬牡丹 (山口青邨)

雪よりも 時雨にもろし 冬牡丹 (正岡子規)

2、怪談

「四谷怪談」や「皿屋敷」に並ぶ日本三大怪談の一つに「牡丹灯籠」という話がある。これは中国明代の怪奇小説集「剪灯新話」（せんとうしんわ）内の小説「牡丹燈記」の翻案である、浅井了意による仮名草子「御伽碑子」（おとぎぼうこ）や当時の実話から着想を得たもので、江戸時代末期に創作された。また、明治には「怪談牡丹灯籠」として落語の演目になり、歌舞伎化されて歌舞伎座での上演も行われた。幽霊との恋路を描いた切なくも恐ろしい、ロマン溢れるストーリーは、現代においても演劇から映画、ドラマなどの映像作品に至るまで、様々な作品に脚色されている。

ここでは

- ・「牡丹灯籠」の物語の紹介
- ・音声ガイド機能を用いた怪談「牡丹灯籠」の朗読
- ・「牡丹灯籠」の場面が描かれた浮世絵

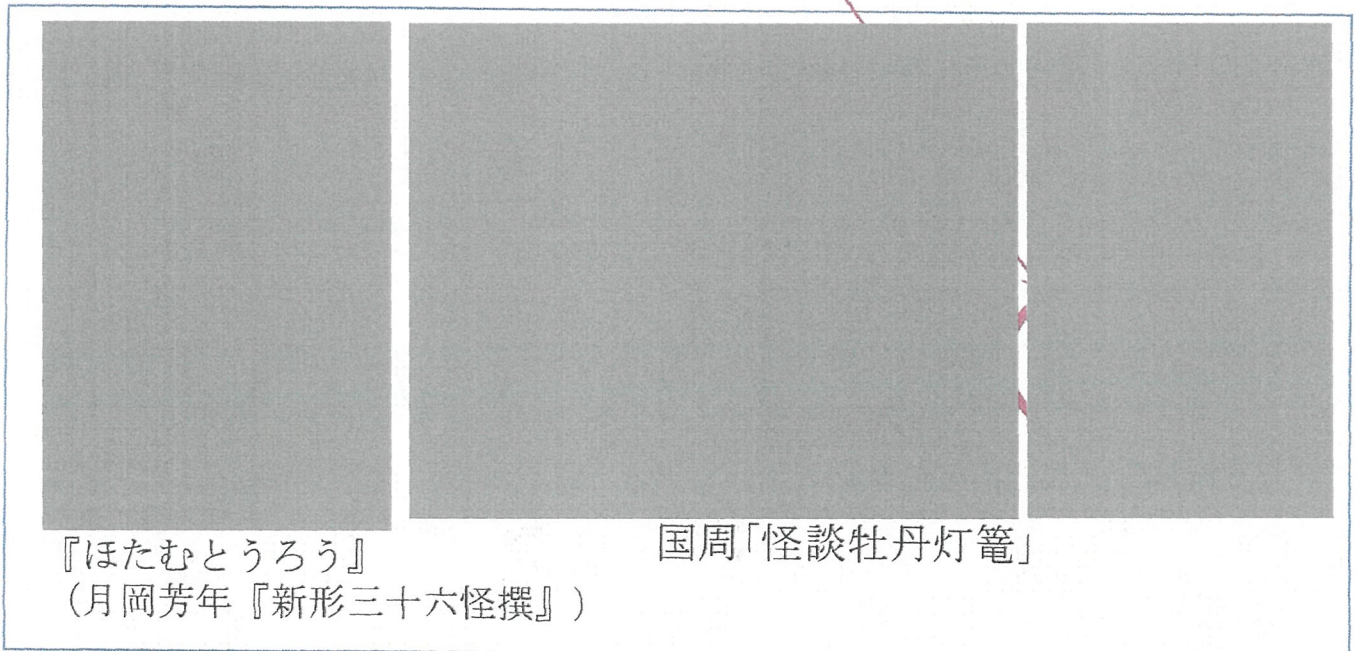
を展示する。

また、室内灯はLEDと造花を使用して制作した灯籠によるものとし、

展覧会の関連プログラムとして、館内で

「怪談牡丹灯籠」を演目に入れた

落語会の開催を行う。



③ 鳥と牡丹

牡丹の絵画には、鳥と一緒に描かれているものが多い。
3つ目の展示では、生き活きとした鳥たちの姿とともに、牡丹の魅力に迫る。

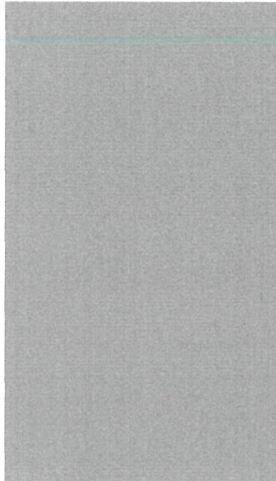
また、獅子や猫、象などの鳥以外の獣が牡丹と描かれている絵画も併せて展示する。



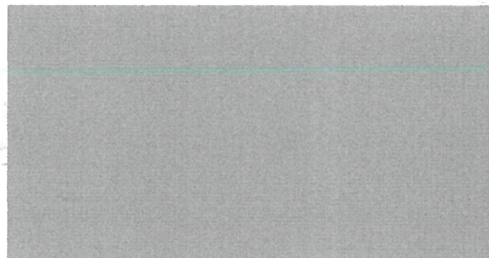
〈鳥と牡丹の作品例〉



鶴亭
「牡丹綬帯鳥図」
神戸市立博物館



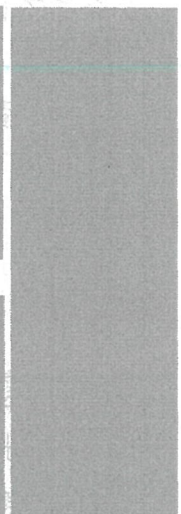
伊藤若冲
「絹本着色動植綵絵
〈伊藤若冲筆〉」
国指定文化財等データベース
(文化庁)



鶴川常雲「唐獅子図屏風」弘前市立博物館



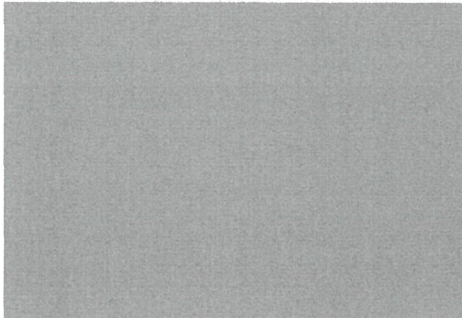
伊藤若冲「象と鯨図屏風」MIHO MUSEUM



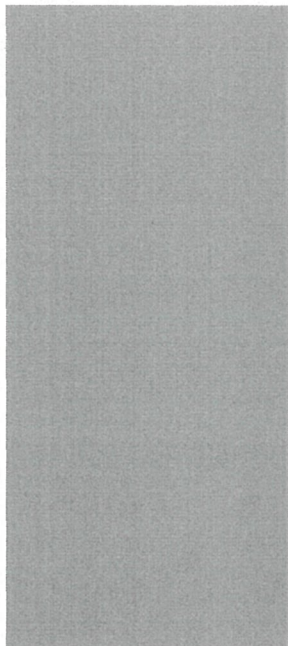
南啓宇「牡丹蝶猫図軸」
東京国立博物館



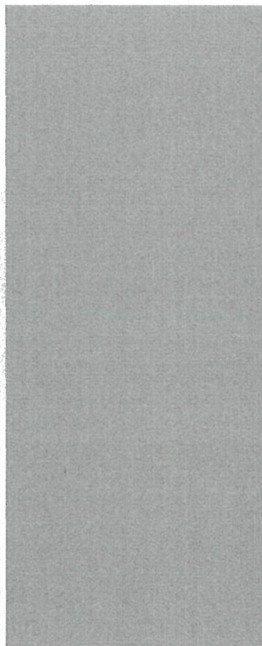
佐竹曙山「椿に文鳥図」神戸市立博物館



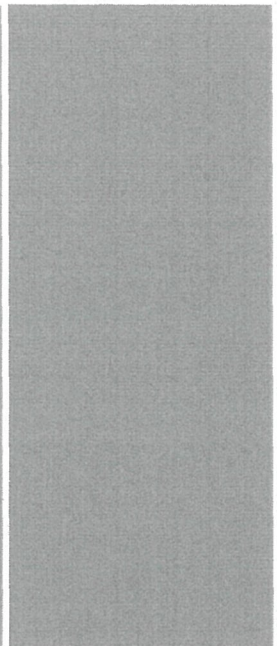
孫億「鳳凰牡丹図」九州国立博物館



斎藤雀亭「牡丹岩小禽図」
神戸市立博物館



春木南溟「花鳥図」弘前市立博物館



④ 道具と牡丹

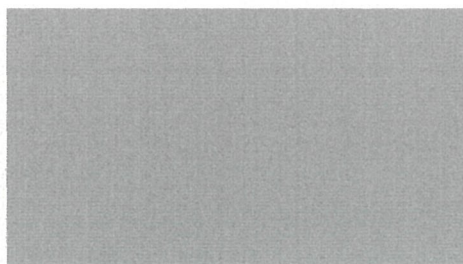
ここでは、道具を通して、人々が牡丹をどうとらえ、牡丹が人々の生活の中にどのようなあり方をしていたのかを見ていく。

牡丹の柄や装飾は非常に人気で、古くから様々な道具にあしらわれ、人々と生活を共にし、その美しさで彩りを添え、華やぎを与えてきた。

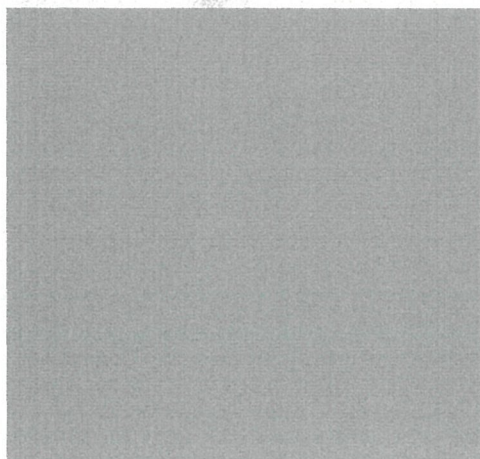
また、贅を凝らし権威を示す目的のために牡丹の装飾が多く利用されたことから、牡丹がいかに人々に愛されてきたのかが理解できる。



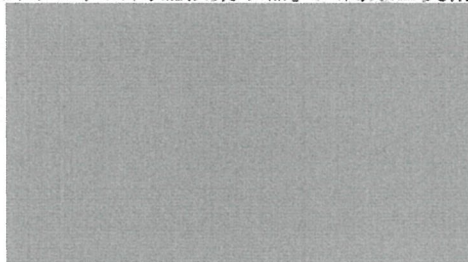
森仁左衛門
「牡丹に唐草文望遠鏡」
神戸市立博物館



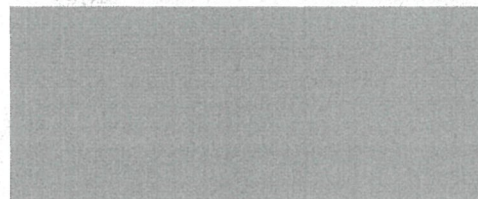
三代金城一國齋
「獅子に牡丹高盛絵菓子器」 広島県立美術館



海野勝珉「牡丹図煙草人」
東京国立博物館



三代金城一國齋
「獅子牡丹高盛絵菓子器」 広島県立美術館



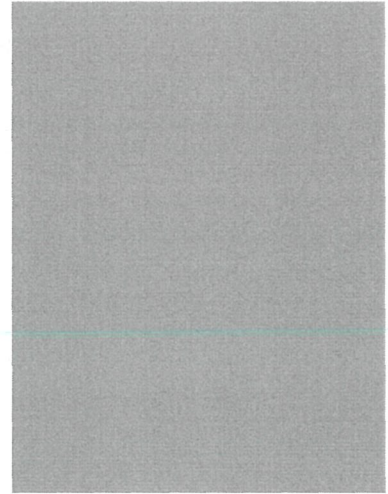
金具：後藤一乗（法眼銘） 螺鈿：中野一跡
「黒檀地花鳥蒔絵螺鈿脇指」 東京国立博物館

⑤ 女性と牡丹

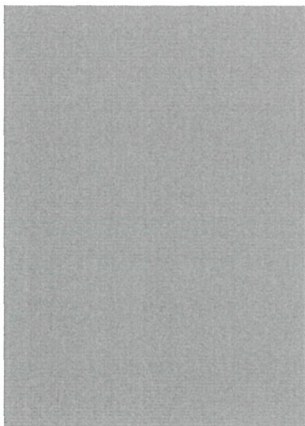
最後は、着物や帯、簪などの装飾品、そしてそれらを身に着けた女性の絵画の展示を行う。

現代でも広く使われている美しい女性の容姿や立ち居振る舞いを例えた言葉に、「立てば芍薬 座れば牡丹 歩く姿は百合の花」というものがある。また、牡丹の花は、良い前兆、幸せの願いを託した吉祥文様として訪問着や振袖の柄として用いられてきた。平安時代の女房装束には、すでに「牡丹」と呼ばれる襲の色目が存在していたことから、牡丹の柄やモチーフが、古くから多くの女性達に愛されていたことがわかる。

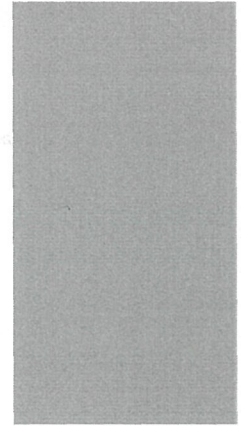
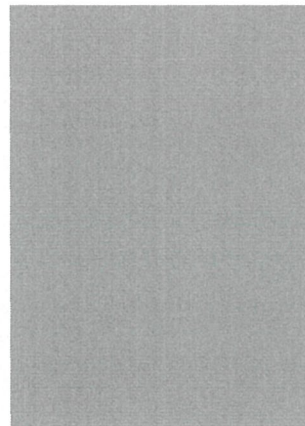
牡丹の美しさに魅了される人々を見ることにより、
「百花の王」とまで言われるほどに圧倒的な力を持つ
牡丹の魅力を再確認することで、この展覧会を締めくくる。



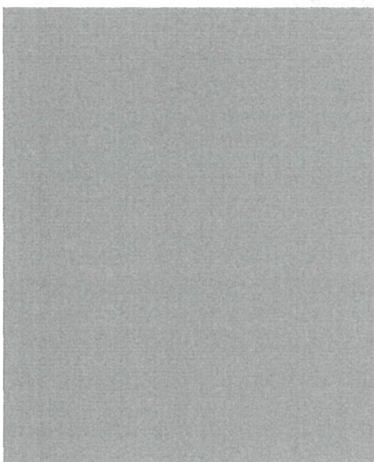
「紫地牡丹と秋草文様振袖」
京都国立博物館



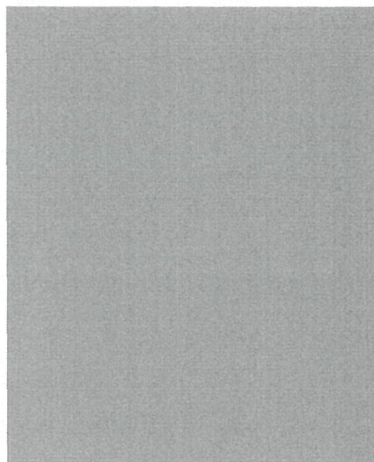
鳥居清長「仲之町の牡丹，あふき屋内かたちの，丁字屋内雛鶴，玉屋内静」東京国立博物館



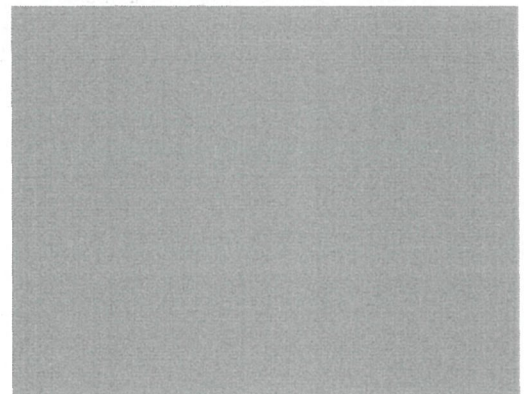
甲斐莊楠音「横櫛」
広島県立美術館



桐鳳凰牡丹金銀珊瑚造り
びらびら簪 京都国立博物館



牡丹金銀珊瑚造りびらびら簪
京都国立博物館



「掛下帯 赤天鷲絨地牡丹に孔雀羽文様」
京都国立博物館

展覧会

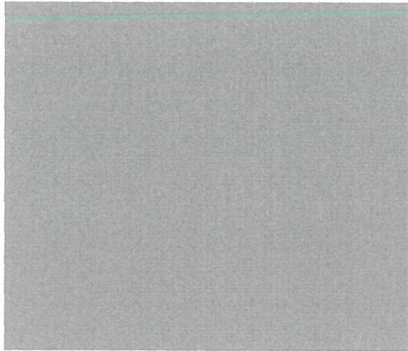
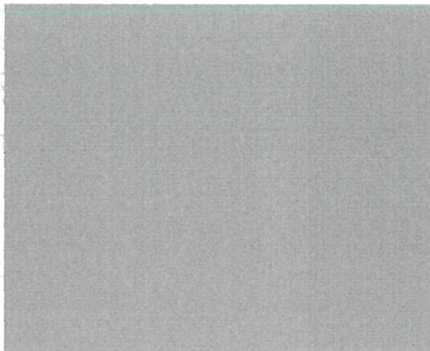
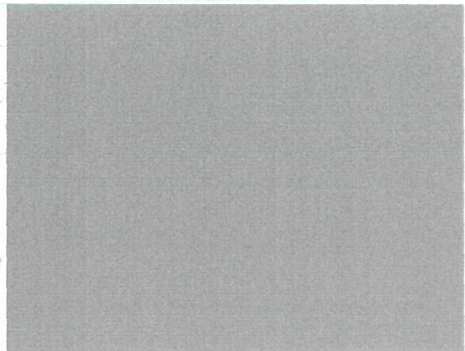
コラボレーション アフタヌーンティー

現在、若い女性達の中で、ホテルやレストラン、美術館などで行われているアフタヌーンティーが大人気となっており、非常に高い集客性・話題性が見込まれる。


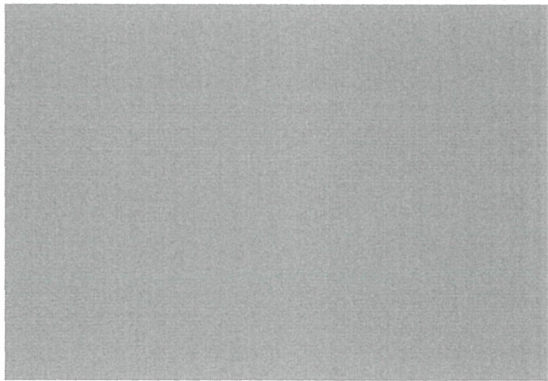
そこで、本展覧会と合わせ、三菱一号館美術館内Café1894にて、牡丹をテーマとし、和菓子を中心とした本展コラボアフタヌーンティーを提供する。

*要予約制とし、都内菓子店と提携し行う。

↓参考例

		
ホテル椿山荘東京 桜アフタヌーンティー 3800円	Restaurant THE MOON 「ROSE AfterMOON Tea」 4,104円	シャングリ・ラ ホテル 東京 ザ・ロビーラウンジ 「桜アフタヌーンティー」 4800円

*また、メニュー内には工芸茶を入れ、展覧会の土産物としての販売も行う

	
工芸茶 牡丹花 分類：花茶 産地：中国 1個 450円	

【中高生のための芸術鑑賞教室】

- ・学校単位で行う。
- ・校外活動の一環として、学生が芸術に触れられる場を作ることを目的とする。

学芸員による解説や作品の鑑賞を通し、芸術をより身近に感じてもらいたい。

参考

- 文化遺産オンライン (<https://bunka.nii.ac.jp/>)
- 牡丹花-中国茶専門店「姫茶伝」
(<https://www.himechaden.com/mudan.html>)
- 新しい私に出会う、三菱一号館美術館 (<https://mimt.jp/>)
- バラのアフタヌーンティーが期間限定で登場 | 六本木ヒルズ ミュージアム・展望台 - ROPPONGI HILLS MUSEUM / OBSERVATORY (<https://art-view.roppongihills.com/jp/cafe-restaurant/news/2019/04/2279/index.html>)
- 牡丹（ボタン） | 大垣市公式ホームページ / 水の都おおがき (<https://www.city.ogaki.lg.jp/0000009526.html>)